

最終回 市民ワークショップ

「戸隠の公共施設の将来像を考える」

をテーマにグループ討論を行いました

全戸配布

8月19日（日）戸隠支所で、最終回となる第3回「戸隠地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

前回の内容を振り返った後、活発なグループワークを行い、各グループの発表を行いました。信州大学工学部の寺内准教授からの講評、住民自治協議会の小林会長のあいさつ、長野市の倉石総務部長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、戸隠地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



信州大学工学部寺内研究室の学生も交え、地区の将来像や自分たちにできることなどを話し合い、グループごとの公共施設の再配置や利活用案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置等に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、戸隠地区住民自治協議会のご協力のもと、公募及び、地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

戸隠支所

電話：254-2323



戸隠スキー場



支所・診療所・農村環境改善センター・保健センター・ふれあい交流ひろば



小学校、中学校

戸隠の主な公共施設



森林囃子(もくもくばやし)



とんくるりん



化石地質博物館

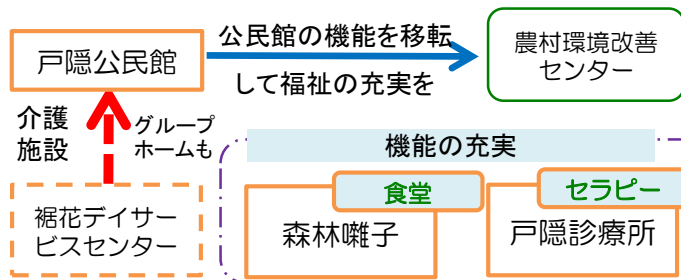
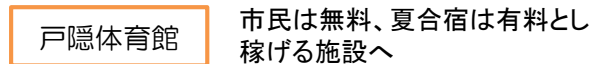
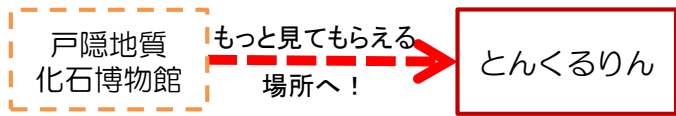


公民館

各グループの施設再配置・利活用案の概要をご紹介します

以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

Aグループ テーマ【いつまでも住み慣れた地域で生活する環境を作る】



《効果》

- そばは多くの事業者がやっている。立地の良い場所で来場者を増やす。
- 作品の魅力を多くの人に覚えてもらえる
- 利用料収入のアップ

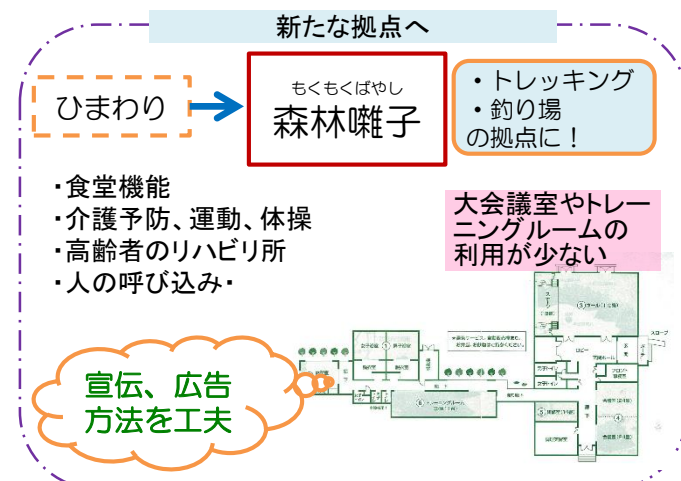
《課題》

- いつまで車が乗れるかわからない
- 交通の利便性の確保
- 後利用をどうするか

《自分たちにできること》

- 清掃などのボランティア
- 地元での運営、直売所、食堂など

Bグループ テーマ【新しい戸隠を作る】



《効果》

- いろいろな人との交流が生まれ、活性化
- 雇用機会が増える
- 直売所の充実→地産地消
- 高齢者施設の集約化、健康増進

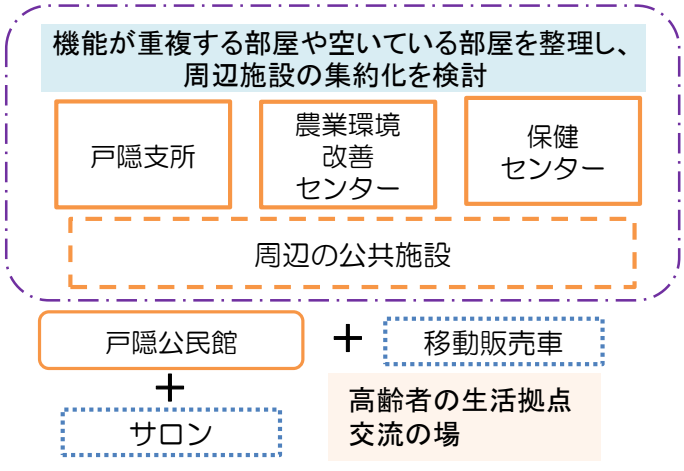
《課題》

- 一般客が、高齢者施設に戸惑い利用しづらい → 高齢者施設利用者と、一般利用者として入口を分ける
- 風呂の感染

《自分たちにできること》

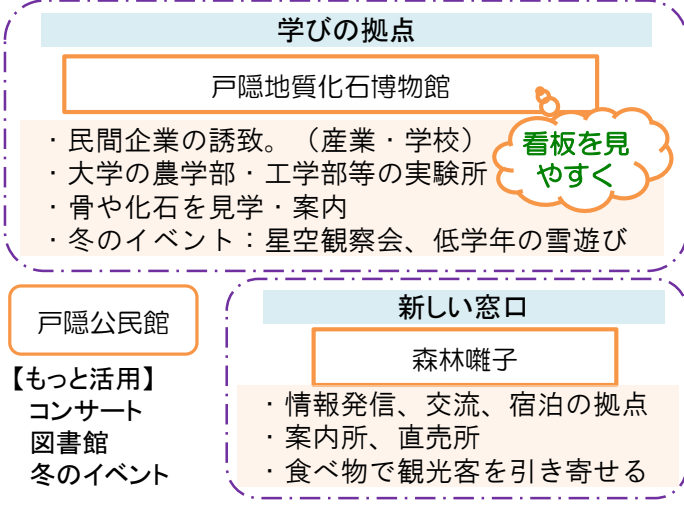
- ボランティア、ガイド
- 高齢者の送迎
- 野菜の持ち込み、手作り物品（小物、パン）

Cグループ テーマ 【戸隠公民館の利用促進～車を運転して市街地まで出られなくなる時を見据えて～
①保健センター・農業環境改善センター・支所3階の整理



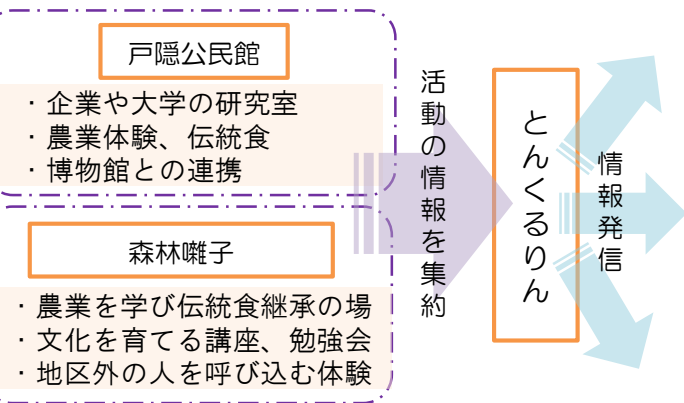
- 《効果》
- ・買い物難民の解消
 - ・人の交流
 - ・高齢者の生活意欲向上、健康寿命延伸
- 《課題》
- ・利益があるか
 - ・だれが指揮をとるか
- 《その他》
- ・公民館は立地が極端に悪いが、柵エリアの掘り所であり無くすのは難しい
 - ・公民館に人が集まるようにするには、大きな変化が必要
 - ・森林囃子は「鬼無里の湯」と連携してはどうか

Dグループ テーマ 【人と人をつなぐ拠点作り】



- 《効果》
- ・イベント等を通じた交流人口増加、移住促進、雇用の場
- 《課題》
- ・情報発信
 - ・協賛メンバー、受け入れ態勢
- 《自分たちにできること》
- ・様々なイベントでは住民が先生となって観光客に教える
- 《その他》
- ・観光客を呼び込むルートの整備
 - ・空き家等を大学の実験建物として利用
 - ・民間企業、大学等の誘致
 - ・柵方面に車のルートを作る

Eグループ テーマ 【戸隠地区南北の結びつきと長野市街地との関係】



- 《効果》
- ・地区内交流（北と南）
 - ・伝統技術の継承、保全
 - ・互いの知的財産発見
- 《課題》
- ・サービスに転換できる人材
 - ・地域の人々の理解と協力
 - ・人のネットワーク（体制）
- 《自分たちにできること》
- ・地域の魅力発見、人材掘り起し
 - ・情報発信



【信州大学工学部寺内美紀子准教授の講評】
 話題の施設や問題点が一致しているということはそれだけ問題が深刻ということ。いい言い方をすれば「機が熟している」ということ。チャンスととらえてほしい。また、インフラ、交通も一緒に考えないと進まない。良い成果が出たと感じたので、ぜひ、今後につなげてほしい。信州大学としてお手伝いできればいいなと思います。

参加者アンケートの主な意見をご紹介します



住自協 小林会長



倉石総務部長

【Aグループ】

- ◆前々から問題がある施設や運営であり、今回参加メンバーが、その点を共有できたことは有意義でした。講評にもあった通り、今回をスタートとして検討する機会を考えていきたい
- ◆課題が分かり、将来、自分たちができることを考えられた

【Bグループ】

- ◆公共施設について考えたことはなかったが、身近な問題として考える機会になった
- ◆今回のワークショップが、今後の戸隠地区の発展につながればありがたいと思う
- ◆各グループの討議が活発にされて発表内容も充実していたと思う。それぞれの中身を検討して、少しでも市行政に活用されることを希望します

【Cグループ】

- ◆同じような意味合いを持つ施設が多いということがわかった
- ◆有効に使われていない事を改めて実感。公民館の図書館をもっと利用していきたい
- ◆今後、何年かしたらもう一度、今回の検証をしてみないかと思います。時間が短いのではないかと思います

【Dグループ】

- ◆「私たちはどう暮らしていくのか」まで考えを深められたことはありがたい経験です
- ◆戸隠観光は地元との交流が欠けている。柵、豊岡を中心に交流の場が作れたら新しい戸隠観光がアピールできると思う。 ◆今後具体的な物を！

【Eグループ】

- ◆現状が良く掘め、将来を考えて行動しないといけないと思いました
- ◆毎回、資料が分かりやすく、前回の分もまとまってふりかえりも、話し合いも進めやすかった。3回目は少し駆け足だったので、あと1回くらいあってもよかった。また続くといいです

【住民自治協議会 小林会長あいさつ】

皆さま、日曜日のお忙しい中、3回にわたり出席いただき、熱心な討議をしていただきありがとうございました。皆さんが戸隠を思う心というのは、こんなに強いんだなということを感じ、私たちもなんとかしないといけないと感じております。

この皆さんの高まった熱を冷まさないように、これからも何らかの形で引き継いでいかないといけないと考えております。

戸隠の発展のために、これから継続していくことが戸隠の力になると思っています。

【倉石総務部長から御礼のあいさつ】

何かとお忙しい中、休日を返上して3回のワークショップにご参加いただきましたメンバーの皆さまに深く感謝を申し上げます。

人口減少や少子高齢化など、公共施設をとりまく現状と、戸隠の活性化や多世代交流などを見据えた、大変熱心なグループ討議をいただいたと感じております。各グループからいただいたご意見も参考にさせていただき、戸隠地区にある様々な公共施設の在り方、将来的な再編・再配置を検討してまいります。

戸隠地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます

